

「2025年度学生生活アンケート」結果——学修成果・成長実感について

■調査と分析方法■

学修成果・成長実感に係る設問は20問あります（下図参照）。

各設問に対して、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」の4択で回答してもらいました。

分析では回答をポイント化し（「あてはまらない」=1, 「ややあてはまらない」=2, 「ややあてはまる」=3, 「あてはまる」=4）, その平均を過去4年の値と比較しました。

2025年度は調査対象者数441名のうち回答が得られた306名（回答率69.39%）の結果を分析しました。

■分析■

図7で2025年度卒業生の在学中の推移（1年生時（青）, 2年生時（赤）, 3年生時（緑）, 4年生時（紫））をみると, ほとんどの項目で年次が進むにつれてポイントが高くなっており, 本学での4年間でさまざまな成長を実感して卒業した様子が見えられます。4年生時に3.30の値を超えている項目も多く, とりわけ, 専門分野の知識や教養, 人との協力意識の項目（設問51～設問53）では3.40を超えています。学年別（図8）および過去4年間の推移（図9）をみても傾向は同様です。本学の学生は, 専門分野の知識や教養, 人との協力意識といった大学らしい学びを中心に, さまざまな学びやスキルにも成長を実感していることがわかります。

一方, 企画立案能力（設問48）, 外国語能力, 国際的視野, チーム能力, 社会的活動への姿勢（設問55～58）をめぐる成長実感は比較的, 低かった様子が見えられます。

図7 学修成果・成長実感（卒業生、在学中の推移）



